

# 11月18日は土木の日

11月18日は「土木の日」。土木の2文字を分解すると「十一」と「十八」になること、土木学会の前身である「工学会」の創立が1879(明治12)年11月18日であることに由来する。続く土木学会の創立記念日である11月24日までの1週間を「くらしと土木の週間」として、土木学会本部・全国8支部、関係企業、団体は土木の重要性を周知するためのイベントを全国各地で開催する。今特集では、広報活動に力を入れている土木学会の取り組みや、2021年度の土木学会選奨土木遺産を紹介する。



寄稿

日本建設業連合会

副会長・土木本部長 押味 至一

## 災害に強い社会資本を整備

世界有数の災害多発国であるわが国は、近年の気候変動により激甚化・頻発化している自然災害に毎年のように見舞われ、各地で甚大な被害が発生しています。加えて、高度経済成長期に集中的に整備された社会資本は、今後急速に老朽化することが懸念されています。安全で安心な国民生活を支え、相次ぐ風水害や切迫する大規模地震に屈しない、豊かで強靱な国土づくりを実現するためには、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」のもと、社会資本を戦略的かつ計画的に整備していく必要があります。

日建連では、昨年より、関係団体や地元経済界と連携したシンポジウムを開催し、社会資本整備が果たす役割とともに、防災・減災、国土強靱化の必要性について、広く発信してきました。本年度も、三地区においてシンポジウムの開催を計画しており、今後も、土木学会など関係機関と連携しながら、災害に強い社会資本整備の重要性やそれを通じた経済成長、十分な施工余力の現状などについて、積極的な広報活動を展開してまいります。

また、建設業界の喫緊の課題である「担い手の確保」についても、建設キャリアアップシステムの普及や週休二日の推進など処遇改善策を力強く推進するとともに、現場見学会の開催などを通じて広く一般に魅力を伝えることが重要です。「給与・休暇・希望」の新3Kに、BIM/CIMの活用、さらにはデジタル化やロボット活用などを取り入れた「カッコいい」を加えた新4Kを目指して業界一丸となり取り組んでまいります。

カーボンニュートラルの実現に向けた世界規模の取り組みなど、社会環境が大きく変化する中においても、土木の社会的使命や重要性は不変であり、今後も、新たな時代のニーズに対応しながら、人々の暮らしに寄り添う存在であり続けたいと考えています。

本年も、「土木の日」及び「くらしと土木の週間」においては、全国で様々なイベントが開催されます。是非多くの一般の方々にご参加いただき、あるべき国土の将来像や、豊かな国民生活と多様な経済活動を支える社会資本の役割などについて、考えていただく機会になればと願っています。

11月18～24日は「くらしと土木の週間」



土木の日に寄せて

国土交通大臣

斉藤 鉄夫

## 経済循環の加速・拡大に貢献する土木技術

「土木の日」を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

今年は、7月の大雨等により、静岡県熱海市をはじめとした全国各地で甚大な被害が相次ぎました。また、記憶に新しい令和2年7月豪雨、令和元年東日本台風等をはじめ、懸念されていた気候変動による水害等の自然災害の頻発・激甚化が現実のものとなっています。このほか、南海トラフ地震・首都直下地震などの大規模地震の発生も切迫しています。また、高度成長期以降に集中的に整備されたインフラの老朽化が今後加速度的に進行し、適切に対応しなければ、中長期的なトータルコストの増大を招くのみならず、我が国の行政・社会経済システムが機能不全に陥る懸念があります。こうした観点から、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」により、災害から国民の命とくらしを守るよう全力を傾けて参ります。

また、これまで、ICT技術の活用等による建設現場の生産性向上の取組として「i-Construction」を推進してきましたが、世界的に流行している新型コロナウイルス感染症への対応や5GやAI等の基幹テクノロジーの進展を踏まえ、建設業界、それから、我々国土交通省の職員においても、非接触・リモート型の働き方に転換するなど、これまでのあり方を抜本的に見直すことへの期待が強まっています。引き続き、ポストコロナ時代も見据え、デジタル技術を活用して社会資本や公共サービスを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、建設業の文化・風土や働き方の変革を目指し、インフラ分野のデジタルトランスフォーメーションを推進して参ります。

国民の安全・安心の確保、社会経済活動の確実な回復と経済循環の加速・拡大、豊かで活力のある地方創りと分散型社会の国土づくりを行うためには、土木技術が重要な役割を果たしています。土木技術に大きく支えられる公共事業につきまして、これまでご尽力いただきました皆様に深く感謝するとともに、従前にも増してなお一層のご協力をお願い致します。

今回の「土木の日」にあたって開催される様々な催しによって、一人でも多くの方が土木技術に支えられたインフラ整備の意義に対する理解を深め、その整備・管理のあり方や土木技術が目指すべき方向性について考える機会となることを期待しています。

## 各地で多彩なイベント

土木学会は18日の「土木の日」と18(24)日の「くらしと土木の週間」に合わせ、広報イベントを各地で開催している。各支部を通じて今後行われる主なイベントは次の通り。▽イベント名①主催・共催などの実施時期②会場④定員。

【東北】  
▽土木の日特別行事 防災に関するシンポジウム「東日本大震災と復興」得られた経験と未来につなぐ①主催。国土交通省東北地方整備局など共催の2022年1月下旬予定③メトロポリタン仙台で収録し、ウェブ開催④200人。

【中国】  
▽第14回「身近な土木を描いてみよう」図画コンクール①主催。国交省中国地方整備局など後援②展示・24日まで、表彰式・23日③広島市まづり市民交流プラザ

【四国】  
▽愛媛県内の土木事業現場見学会①愛媛県土木部主催②30日まで③愛媛県内

▽高知県内の土木工事現場見学会①高知県建設業協会②12月15日まで③高知県内

▽連発土木遺産and土木コレクション展①主催②25(26)日③徳島市アステイトくしま

【西部】  
▽第26回「沖縄の土木技術」を世界に発信する会①シンポジウム①主催②26日、29日、1月17日から録画配信③パレット市民劇場④155人

▽北九州ゆめみらいワーク2021①北九州市主催。北九州商工会議所など共催②12月2(3)日③西日本総合展示場新館。

**全国土木建築国民健康保険組合**  
理事長 栄 畑 潤  
東京都千代田区平河町一五九  
電話03(311)1111(内線)1114  
http://www.tokkenpo.co.jp

保証事業を通じて  
安全で活力のある社会を創るための  
お手伝いをしています

**東日本建設業保証株式会社**  
〒104-8438  
東京都中央区八丁堀二一七  
電話03(355)2171  
電話03(355)2171  
建設産業図書館〒104-8438  
東京都中央区築地五二二(浜離宮建設プラザ)

一般社団法人  
**全国建設業協会**  
会長 奥村 太加典  
東京都中央区八丁堀2-5-1 電話 03(3551)9396

一般社団法人  
**JRCA 日本道路建設業協会**  
会長 西田 義 則  
東京都中央区八丁堀2-5-1(東京建設会館) 電話 03(3537)3056

### 安全・安心の国土づくりへ

建設コンサルタンツ協会は、社会資本整備をリードする  
自律した産業を目指します

**JCCA**

一般社団法人  
**建設コンサルタンツ協会**

会長 野崎 秀 則  
副会長 重永 智之  
副会長 酒井 利 夫

東京都千代田区三番町1番地(KY三番町ビル7・8F)  
電話 03(3239)7992 FAX 03(3239)1869  
URL https://www.jcca.or.jp/



確かなものを 地球と未来に

一般社団法人 **日本建設業連合会**  
JAPAN FEDERATION OF CONSTRUCTION CONTRACTORS

会長 宮本 洋一

東京都中央区八丁堀2-5-1(東京建設会館内) 電話03(3553)0701(代表)  
URL https://www.nikkenren.com



GOOD DESIGN AWARD 2021

**BEST 100**

10t大型リヤダンプトラック耐摩耗鋼板(HARDOX)仕様が  
2021年度グッドデザイン・ベスト100を受賞しました。



深化させた剛から柔への設計思想によって、  
「積載量の確保」と「耐久性の確保」の両立を高次元で実現しました。



一般鋼の約3倍の強度を有する耐摩耗鋼板(HARDOX)をボデーパネルに加えてデッキ裏クロスメンバにも採用し、10トン積載に十分耐えうる耐久性を確保。



ボデーに高強度の耐摩耗鋼板(HARDOX)を採用することで補強骨組み(スチフナ)を極力少なくし車体重量の軽量化を実現。



荷重を荷台全体のたわみで受け止めるためのR(丸型)一体構造採用に加え、デッキを3分割構造とし、部位毎の必要強度を確保しながら、板厚を薄くし柔軟性と軽量化の高い調和を図り積載量の確保を実現。

**極東開発工業株式会社**

本 社 / 兵庫県西宮市甲子園口6-1-45 〒663-8545 TEL.(0798)66-1000  
東京本部 / 東京都品川区東品川3-15-10 〒140-0002 TEL.(03)5781-9821

●北海道支店 ☎(011)251-5701 ●東北支店 ☎(022)236-6692 ●首都圏支店 ☎(03)5781-9825 ●北関東支店 ☎(048)668-7712  
●中部支店 ☎(0568)71-2231 ●関西支店 ☎(0798)66-1011 ●中国支店 ☎(082)232-8358 ●九州支店 ☎(092)471-1001

※同様の基本コンセプトをもつ4tリヤダンプ(耐摩耗鋼板仕様)も「2018年度グッドデザイン賞」を受賞しています。

土木の日に寄せて

土木学会 会長 谷口 博昭



## 「コロナ後の日本創生」へ、「土木」の果たす役割は大

11月18日は「土木」の日、この日から土木学会創立記念の24日まで「暮らしと土木の週間」として、「土木」の理解を深めて戴くためさまざまな事業活動を展開します。

「土木」は、暮らしと経済活動の時のニーズに応じて技術開発・改善を進めながら、これまで治水、ため池、街道、港、上下水道、鉄道、空港、高速道路、新幹線などの事業を実施、社会の発展に貢献してきました。暮らしと経済活動を支えるインフラストラクチャー(インフラ)の整備・保全是道半ばですので、暮らしと経済活動の変化・進化に応じてイノベーションを促進しつつ、これからも「土木事業」を推進することが肝要です。

国家は、明治以来の「土木事業」予算を戦後1946年度から失対事業を含めた「公共事業」予算に変更しました。国の財政状況が厳しく

なっており、無駄が多い、コスト高などの理由から「公共事業」批判が続いています。従って、執行に制約の多い補正予算でなく、計画的・効率的且つ先行的な実施に必要不可欠な当初予算を見てみると、1997年度から削減傾向にあります。インフラの投資額とGDPとは正の相関があり、欧米諸国が概ね2倍近いGDPの伸びを示す中で、我が国のみおおむね横ばいであり「失われた30年」と称される停滞を招いています。

少子高齢化・人口減少、グローバル化の進展、地球温暖化問題の深刻化等の大きな変化の時代、成長と経済の好循環経済の観点からも「土木」インフラの果たす役割は大です。毎年の如く生じる豪雨・地震等による災害を受け、昨年末に事業規模15兆円の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」

が策定されました。また、高度成長期に整備されたインフラの維持管理・更新についても一定の配慮がなされています。しかし、新型コロナウイルス感染症がパンデミックとなり保健医療インフラの脆弱性が顕在化したように、将来世代に亘る共有資産である「土木」インフラについても「公共事業」予算削減に伴う同様の懸念があります。米英中は、コロナ後の新しい雇用創出と新しい経済社会構築に向け、福祉介護、情報、エネルギー等新型を含めたインフラ投資の戦略的計画を発表しています。土木学会は、「コロナ後の日本創生」に向け、「土木」の「ビッグ・ピクチャー(全体俯瞰図)」を来年6月までに取りまとめ、提言する予定です。国家が「土木」インフラの削減から強化へと明確に転換することを期待します。

## 土木の日シンポジウム2021



東京工業大学の真田純子准教授による基調講演

土木学会(谷口博昭会長)は14日、11月18日の土木の日にちなんで「土木の日シンポジウム2021」をオンライン開催した。「グリーンインフラと市民普請」をメインテーマに、学識者らが地域の取り組み事例を講演。自然の持つ多様な機能を生かしてグリーンインフラを社会で幅広く実装するため、市民が果たしていくべき役割などを討論した。

## メインテーマ

## グリーンインフラと市民普請～自然のなかでいける技術のあり方～

冒頭、国土交通省の廣瀬昌由官房技術審議官が土木の日実行担当の立場を代表し開会のあいさつを行った。DX(デジタルトランスフォーメーション)やカーボンニュートラルといった社会経済を取り巻く最新の課題を挙げ「これから土木の力を結集しいろいろな取り組みに挑んでいかなければならない」と強調。その上で市民が地域を豊かにするための行動を主導していく「市民普請」のさらなる普及に期待を込めた。

続いて主催者代表でありかつた谷口会長は「インフラの整備保全は道半ばの状況」と指摘。「これからの暮らしや経済活動の変化や深化に応じてイノベーションを促進しつつ、土木事業を推進することが肝要だ。(岸田政権が掲げる)成長と分配の好循環経済の観点からも土木の果たす役割は大い」と訴えた。土木学会としてコロナ収束後の日本創生に向け、来年6月までに「ビッグ・ピクチャー」としてインフラの全体俯瞰(ふかん)図を策定することも紹介した。

## 提言へ

登録基幹技能者講習機関  
一般社団法人  
日本トンネル専門工業協会  
代表理事 野崎正和  
〒105-0003  
東京都港区西新橋一丁目九番一  
電話 03(3532)8031 FAX 03(3532)8022  
http://www.tunnel.jp

|                                                                                                                    |                                                                                                                         |                                                                                                                             |                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                           |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>日本港湾空港建設協会連合会</b><br>会長 林田 博<br>東京都港区新橋5-27-3(新橋五光ビル) 電話 03(3432)2671                                           | <b>一般社団法人 全国中小建設業協会</b><br>会長 土志田 領司<br>東京都中央区新富2-4-5(ニュー新富ビル2階) 電話 03(5542)0331                                        | <b>次世代へ届ける確かな技術、PC建設の未来への挑戦</b><br>一般社団法人<br><b>プレストレスト・コンクリート建設業協会</b><br>会長 大野 達也<br>東京都新宿区津久戸町4-6(第三都ビル) 電話 03(3260)2535 | <b>一般社団法人 日本埋立浚渫協会</b><br>会長 清水 琢三<br>東京都港区赤坂3-3-5(住友生命山王ビル) 電話 03(5549)7468(代表)                                                   | <b>東京を造る、日本を創る 一般社団法人 東京建設業協会</b><br>会長 今井 雅則<br>東京都中央区八丁堀2-5-1 電話 03(3552)5656                                                                                           |
| <b>CTI 株式会社 建設技術研究所</b><br>代表取締役社長 中村 哲己<br>東京都中央区日本橋浜町3-21-1(日本橋浜町Fタワー) http://www.ctie.co.jp 電話 03(3668)0451(代表) | <b>社会価値創造企業へ 株式会社 オリエンタルコンサルタンツ</b><br>代表取締役社長 野崎 秀則<br>本社 〒151-0071 東京都渋谷区本町三丁目12番1号 TEL 03(6311)7551/FAX 03(6311)8011 | <b>一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 関東支部</b><br>支部長 重永 智之<br>東京都新宿区西新宿3-8-4(BABAビル) 電話 03(6276)6691                                       | <b>一般社団法人 ウォーターフロント協会</b><br>会長 金澤 寛<br>東京都港区芝浦3-11-9(武蔵ビル3階) 電話 03(3453)4191                                                      | <b>一般財団法人 港湾空港総合技術センター</b><br>理事長 林田 博<br>東京都千代田区霞が関3-3-1(尚友会館) 電話 03(3503)2081                                                                                           |
| <b>大成建設株式会社</b><br>代表取締役社長 相川 善郎                                                                                   | <b>清水建設株式会社</b><br>取締役社長 井上 和幸                                                                                          | <b>パシフィックコンサルタンツ株式会社</b><br>代表取締役社長 重永 智之<br>東京都千代田区神田錦町3-22 電話 03(6777)3001                                                | <b>東京建設コンサルタント</b><br>TOKEN C. E. E. Consultants Co., Ltd.<br>代表取締役社長 大村 善雄<br>東京都豊島区北大塚1-15-6 電話 03(5980)2633 www.tokencon.co.jp/ | <b>総合建設コンサルタント(国内及び海外) セントラルコンサルタント株式会社</b><br>代表取締役社長 木原 一行<br>〒104-0053 東京都中央区晴海2丁目5番24号 晴海センタービル10階 電話 03(3532)8031 FAX 03(3532)8022 URL https://www.central-con.co.jp |
| <b>鉄建建設株式会社</b><br>代表取締役社長 伊藤 泰司                                                                                   | <b>株式会社 フジタ</b><br>代表取締役社長 奥村 洋治                                                                                        | <b>戸田建設株式会社</b><br>代表取締役社長 大谷 清介                                                                                            | <b>鹿島建設株式会社</b><br>代表取締役社長 天野 裕正                                                                                                   | <b>株式会社 大林組</b><br>取締役社長 蓮輪 賢治                                                                                                                                            |

道路橋用伸縮装置

NETIS登録番号 KT-210067-A

## ハイブリッドジョイント 3LIIA

## 大伸縮量・広道間対応

荷重支持部とプレートアンカー部を一体構造とすることで、長大橋等の大伸縮量に適合可能となりました。

## 高い止水性

ゴム止水シートとファスナーによる接続の止水構造で、優れた水密性を獲得した製品です。

## 超低騒音・快速走行

輪荷重支持間隔が小さく、走行時の衝撃振動が発生しにくいいため、スムーズで快適な走行が得られます。

伸縮量 200 ~ 600mm  
最大適用道間 1230mm



〒105-0004 東京都港区新橋5丁目27番1号(パークプレイス6F) TEL: 03-5403-7373

https://crettec.jp

ダーウィン台車がトンネル工事を変える  
～移動式足場を安価で迅速に供給～

全国  
60カ所の  
拠点で対応

株式会社 東宏  
〒007-0829 札幌市東区東雁来9条3-2-3  
TEL 011-792-3000 FAX 011-792-3333

株式会社 日建リース工業株式会社  
〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-7-8(住友水道橋ビル)  
TEL 03-3295-9111(大代表) FAX 03-3219-6290



〈弾丸道路〈札幌・千歳間道路〉〉  
◇所在地＝札幌市、北海道北広島市、恵庭市、千歳市  
◇竣工年＝1953年  
◇受賞理由＝積雪寒冷地や自動車高速走行のため先駆的な設計基準を導入。全国の道路改良の指標となった



〈渡良瀬川上流域足尾の砂防堰堤群〉  
◇所在地＝栃木県日光市  
◇竣工年＝1940～70年  
◇受賞理由＝大規模な土石流災害の軽減・抑止を目的とした本邦最大級施設を含む砂防堰堤群。環境を視点に未来への思考を誘う



〈六郷水門〉  
◇所在地＝東京都大田区  
◇竣工年＝1931年  
◇受賞理由＝今も水門としての機能を保つ。多摩川改修工事で六郷用水の記憶を物語る地域のシンボルとなっている



〈彩雲橋〉  
◇所在地＝愛知県大山市  
◇竣工年＝1929年  
◇受賞理由＝昭和初期の犬山城付近の観光開発で、木曽川へ流れ込む郷瀬川上に架けられた鉄道レールを用いたすっきりした2連アーチ橋



〈生駒鋼索線と生駒山上遊園地飛行塔〉  
◇所在地＝奈良県生駒市  
◇竣工年＝1918～29年  
◇受賞理由＝日本の私鉄に見られる観光施策を証示する最古の施設



〈琵琶湖疏水〈第1、第2、分線ほか〉〉  
◇所在地＝大津市、京都市山科区、京都市左京区  
◇竣工年＝1890～1912年  
◇受賞理由＝多目的利用によって京都の近代化に貢献。技術や意匠の質も高く不動の歴史的価値を有する



〈和田旋回橋〉  
◇所在地＝神戸市兵庫区  
◇竣工年＝1899年  
◇受賞理由＝日本初かつ最古の鉄道用可動橋。当初の架設地点に供用され続け現在も地元住民によって積極的に活用されている



〈千賀居隧道〉  
◇所在地＝愛媛県八幡浜市  
◇竣工年＝1905年  
◇受賞理由＝ループ道路に建設された隧道。当該形式では国内最古クラス



〈糠平ダム〉  
◇所在地＝北海道上士幌町  
◇竣工年＝1956年  
◇受賞理由＝当時最高水準の国産大型機械採用や前例のない蒸気養生を採用。寒地での短期施工を実現した



〈只見線鉄道施設群〉  
◇所在地＝福島県、新潟県  
◇竣工年＝1925～71年  
◇受賞理由＝福島、新潟両県の地域資源の活用や豪雪地帯を結ぶライフラインとして、機能美や四季折々の風景を創生



〈塔之沢発電所と関連施設〉  
◇所在地＝神奈川県箱根町  
◇竣工年＝1909年  
◇受賞理由＝当時最新の発電設備や国産技術を多用するなど明治期の水力発電の基礎を作り、箱根の観光を支えてきた



〈東山円筒分水槽〉  
◇所在地＝富山県魚津市  
◇竣工年＝1954年  
◇受賞理由＝長年水不足に悩まされてきた片貝川流域へ合理的で公平に分水するため、川を渡るサイホン終端に設けられた美しい円形の分水施設になる



〈山川橋〉  
◇所在地＝岐阜県川辺町  
◇竣工年＝1937年  
◇受賞理由＝川辺ダム建設に伴ってダム湖に架けられたゲルバー式ＲＣラーメン橋。長年地域で愛されてきた



〈谷瀬の吊り橋〉  
◇所在地＝奈良県十津川村  
◇竣工年＝1954年  
◇受賞理由＝安全安心を希求する地区住民の思いによって建設。60年以上にわたり供用され続け、現在は観光資源となっている



〈旧成相池堰堤〉  
◇所在地＝兵庫県南あわじ市  
◇竣工年＝1950年  
◇受賞理由＝渇水時の農業用水確保のため建造された粗石モルタル造の重力式ダム。先人の水確保の努力を後世に伝える

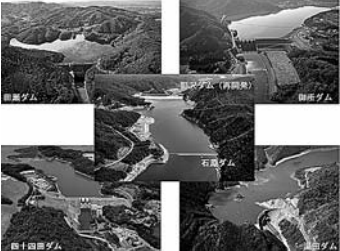


〈爆撃被害建材の再利用橋梁－本川橋、九十九橋〉  
◇所在地＝広島市中区、広島県海田町  
◇竣工年＝本川橋：1949年、九十九橋：1950年  
◇受賞理由＝敗戦直後の資材難の中、爆撃を受けた光海軍工廠の建材を再利用した橋梁。部材に弾痕や以前のリベット孔が残っている



〈花峯橋〉  
◇所在地＝宮崎県日南市  
◇竣工年＝1929年  
◇受賞理由＝現存する希少な木造方杖式の道路橋の一つ。当時の木造橋建設技術を今に伝える

## 2021年 選奨土木遺産



〈北上川上流総合開発ダム群〉  
◇所在地＝岩手県花巻市、西和賀町、盛岡市、奥州市  
◇竣工年＝田瀬ダム：1954年、湯田ダム：1964年、四十四田ダム：1968年、御所ダム：1981年、石淵ダム：1953年  
◇受賞理由＝北上川流域の治水を最大の目的にしながら、発電・灌漑用水・上水などの機能を併せ持つ多目的ダム群として地域を支える



〈円上寺隧道〉  
◇所在地＝新潟県長岡市  
◇竣工年＝1915年  
◇受賞理由＝日本最古級のコンクリート造の河川トンネル。建設から100年以上が経過した今も地域の防災に寄与し続ける



〈栗尾沢砂防施設群〉  
◇所在地＝埼玉県小鹿野町  
◇竣工年＝1916～35年  
◇受賞理由＝建設当時の東日本では事例が少ない切石種の砂防堰堤など、砂防事業の歴史や技術を今に伝える



〈殿橋〉  
◇所在地＝愛知県岡崎市  
◇竣工年＝1927年  
◇受賞理由＝乙川に架かる12径間連続ＲＣ桁橋。補修を加えながらもスレンダーな形姿を保つ岡崎市街のシンボリックな施設



〈津守下水処理場1系水処理施設〉  
◇所在地＝大阪市西成区  
◇竣工年＝1940年  
◇受賞理由＝稼働当初の躯体構造を維持しながら、80年以上にわたって稼働し続けている



〈関西本線津川橋りょう〉  
◇所在地＝京都府笠置町  
◇竣工年＝1897～1953年  
◇受賞理由＝明治時代に架けられた橋梁を適切な補強や更新によって長寿命化を実現した



〈村田鶴が湖北地方に残した隧道群〉  
◇所在地＝滋賀県米原市～長浜市  
◇竣工年＝横山隧道：1923年、谷坂隧道：1935年  
◇受賞理由＝材料特性かられんがとコンクリートを使い分ける秀逸な設計が施され、格式高い意匠とともに長年にわたって地域交通に貢献した



〈緒方川の多連アーチ石橋群〉  
◇所在地＝大分県豊後大野市  
◇竣工年＝緒方橋：1911年、鳴滝橋：1922年、長瀬橋：1923年、原尻橋：1923年、柚木寺原橋：1928年  
◇受賞理由＝2～6連のアーチを有する石橋が一つの地域にまとって現存する

11月18日は**土木の日**

|                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                               |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  <b>熊谷組</b><br>取締役社長 櫻野泰則                                                |  <b>安藤ハザマ</b><br>代表取締役社長 福富正人                                         |  <b>前田建設工業株式会社</b><br>代表取締役社長 前田操治                                       |  <b>西松建設株式会社</b><br>取締役社長 高瀬伸利                                           |  <b>飛鳥建設株式会社</b><br>代表取締役社長 乗京正弘                                         |
|  <b>株式会社 鴻池組</b><br>代表取締役社長 渡津弘己                                         |  <b>東急建設株式会社</b><br>代表取締役社長 寺田光宏                                      |  <b>三井住友建設株式会社</b><br>代表取締役社長 近藤重敏                                       |  <b>五洋建設株式会社</b><br>代表取締役社長 清水琢三                                         |  <b>佐藤工業株式会社</b><br>取締役社長 平間宏                                            |
|  <b>東亜建設工業</b><br>代表取締役社長 秋山優樹                                           |  <b>大豊建設株式会社</b><br>代表取締役社長 大隅健一                                      |  <b>株式会社 浅沼組</b><br>代表取締役社長 浅沼誠                                          |  <b>銭高組</b><br>社長 銭高久善                                                   |  <b>株式会社 奥村組</b><br>代表取締役社長 奥村太加典                                        |
|  <b>株木建設株式会社</b><br>取締役社長 株木康吉                                           |  <b>若築建設株式会社</b><br>代表取締役社長 鳥田克彦                                      |  <b>株式会社 不動テトラ</b><br>代表取締役社長 奥田眞也                                       |  <b>株式会社 竹中土木</b><br>取締役社長 竹中康一                                          |  <b>東洋建設株式会社</b><br>代表取締役社長 武澤恭司                                         |
|  <b>株式会社 大本組</b><br>代表取締役社長 三宅啓一                                         |  <b>みらい建設工業株式会社</b><br>代表取締役社長 小西武                                    |  <b>あおみ建設株式会社</b><br>代表取締役社長 河邊知之                                        |  <b>青木あすなろ建設</b><br>代表取締役社長 辻井靖                                          |  <b>りんかい日産建設</b><br>代表取締役社長 前田祐治                                         |
|  <b>大林道路株式会社</b><br>代表取締役社長 黒川修治<br>東京都千代田区神田猿樂町2-8-8<br>電話 03(3295)8860 |  <b>オリエンタル白石株式会社</b><br>代表取締役社長 大野達也                                  |  <b>・DNC・大日本土木株式会社</b><br>代表取締役社長 馬場義雄                                   |  <b>株式会社 松村組</b><br>代表取締役社長 村上修                                          |  <b>株式会社 本間組</b><br>代表取締役社長 本間達郎                                         |
|  <b>東亜道路工業株式会社</b><br>代表取締役社長 森下協一<br>東京都港区六本木7-3-7<br>電話 03(3405)1811   |  <b>地崎道路株式会社</b><br>代表取締役社長 渡邊誠司<br>東京都港区港南2-13-31<br>電話 03(5460)1031 |  <b>大成ロテック株式会社</b><br>代表取締役社長 西田義則<br>東京都新宿区西新宿8-17-1<br>電話 03(5925)9431 |  <b>鹿島道路株式会社</b><br>代表取締役社長 吉弘英光<br>東京都文京区後楽1-7-27<br>電話 03(5802)8001    |  <b>株式会社 ガイアート</b><br>代表取締役 山本健司<br>東京都新宿区新小川町8-27<br>電話 03(5261)9211    |
|  <b>三井住建道路株式会社</b><br>代表取締役社長 蓮井肇<br>東京都新宿区西新宿6-24-1<br>電話 03(6258)1523  |  <b>前田道路株式会社</b><br>代表取締役社長 今泉保彦<br>東京都品川区大崎1-11-3<br>電話 03(5487)0011 |  <b>日本道路株式会社</b><br>代表取締役社長 久松博三<br>東京都港区新橋1-6-5<br>電話 03(3571)4891(代表)  |  <b>株式会社 NIPPO</b><br>代表取締役社長 吉川芳和<br>東京都中央区京橋1-19-11<br>電話 03(3563)6751 |  <b>戸田道路株式会社</b><br>代表取締役社長 窪田浩一<br>東京都中央区日本橋錦町2-13-6<br>電話 03(3669)8051 |